

J R 鹿島駅駅舎改修に伴う駅周辺のあり方検討について

J R 常磐線鹿島駅は、明治 31 年（1898 年）の開業から 126 年が経過し、今なお地域住民から「まちの顔」として親しまれています。

一方、駅舎の老朽化及び平成 23 年の東日本大震災をはじめとする度重なる大きな地震による被害により、駅利用者が安心して駅舎を利用する環境として不安が大きくなっています（鹿島駅の損傷状況については、[資料 1](#) 参照）。

こうした状況から、東日本旅客鉄道株式会社（J R 東日本）では、令和 6 年度から令和 7 年度までの 2 か年での駅舎改修を計画しています（改修イメージは[資料 2](#) 参照）。

また、平成 28 年の鹿島駅の無人化以降、防犯面での安全性の確保も課題となっています。

これらの状況を踏まえ、市では、駅周辺のあるべき姿を見つめなおす好機ととらえ、まずはできるだけ多くの地域住民の声を集めることといたしました。

具体的には以下の基本方針のもと進めてまいりたいと考えておりますので、鹿島区地域協議会の皆さまのご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

【鹿島駅周辺の在り方検討の基本方針】

1. 鹿島区地域協議会を検討の拠点とする。

検討に当たっては、様々な分野の皆さまの声を吸い上げる必要があると考えております。一方で、市では既に多くの検討委員会的組織が乱立しており、重複して検討委員会への参加を求められるケースも散見されることから、該当される方への負担は決して小さくないものと考えます。

こうしたことから、今回の在り方検討については、既存の地域協議会を活用して進めることといたします。

2. 地域協議会から検討の輪を広げる。

地域協議会には各団体・組織の代表として皆さまにご参加いただいておりますが、より多くの声を集めるため、皆さまの所属する団体・組織に市が出向いてご意見を伺う必要があると考えています。場づくりにご協力をお願いします。

【事務担当】 鹿島区地域振興課 鹿島活性化担当 TEL 67-1021

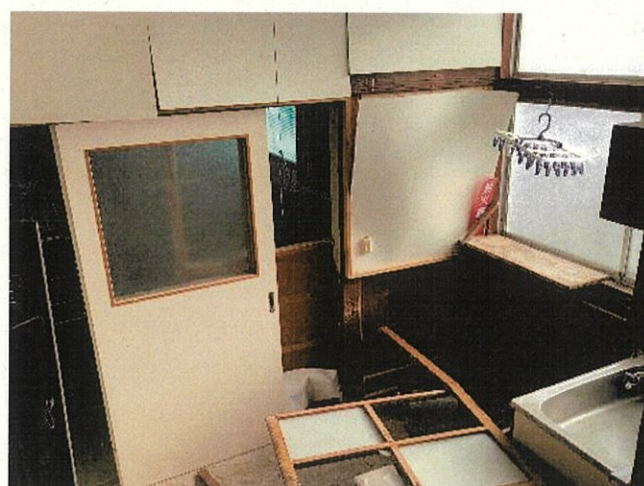
鹿島駅 地震被害状況写真

(経年：126年)

2011/3/11被害状況



2022/3/16被害状況



【参考】木造駅舎建替事例（常磐線・水郡線）

資料 2

磐城浅川駅



新駅舎外観



待合室

川東駅



新駅舎外観



待合室

内郷駅



新駅舎外観



待合室

草野駅



新駅舎外観



待合室

泉郷駅



新駅舎外観



待合室

木戸駅



新駅舎外観



待合室